

臨床研究に関するお知らせ

2017年7月1日

<研究の名称>

「高齢患者での漢方薬使用に関する疫学研究」

当院で以下に説明する研究(調査)をすることになりましたのでご案内します。

◆研究(調査)の対象となられる方と方法

2015年1月から2015年3月頃にかけて当院内科外来を過去3回以上通院されたことがある65歳以上の方が対象となります。診療録(カルテ)に記載された既往歴、内服薬、診療内容などを調べて研究(調査)に使わせて頂きます。個人情報情報はデータ収集の時点で匿名化し厳重な保護を行います。従って研究結果の発表に際して個人が特定されることはありません。

◆研究(調査)の背景と目的

社会の高齢化に伴い多くの病気を持つ高齢者が増え、多くの薬を内服する高齢者が増えています。そういった意味で、漢方薬は副作用が少ないとされ、代替治療として使用することで副作用の多い薬剤使用を避けることでできる可能性があります。しかし、そもそも漢方薬が病院でどの程度の頻度で処方されているか、どのような種類の漢方薬が処方されているかはこれまで全く検証されていません。そういった漢方薬の処方頻度を調べつつ、漢方薬処方が不適切な薬剤使用を減らしているかどうかを評価するのが今回の研究の目的です。

この期間に当院内科外来を通院されたことがある患者様で、もしご自身のデータを研究(調査)に使用されたくない場合は、診療情報を使用致しませんので、下記のお問い合わせ窓口まで、お申し出ください。なお、この研究で新たなご負担はありません。

◆お問い合わせ窓口(平日 13:00-16:00)

国立病院機構 栃木医療センター 内科 駒ヶ嶺 順平 電話：028-622-5241